

1 第194回国会概観

1 会期及び活動等の概要

(召集、衆議院の解散)

安倍内閣総理大臣は平成29年8月3日、内閣改造を行い、第3次安倍第3次改造内閣が発足した。

9月25日、安倍内閣総理大臣は消費税率を10%に上げた際の増収分の使途見直しを表明、国民に信を問うとして同28日の衆議院解散を表明した。

そして、第194回国会(臨時会)が9月28日に召集され、同日、衆議院が解散された。召集日当日の衆議院解散は、昭和41年の第1次佐藤内閣(第54回国会)、昭和61年の第2次中曽根内閣(第105回国会)、平成8年の第1次橋本内閣(第137回国会)に続いて4回目であった。

(院の構成等)

参議院では、9月28日の召集日当日の本会議で議席の指定、15常任委員長の辞

任及び選挙(内閣、総務、法務、外交防衛、財政金融、文教科学、厚生労働、農林水産、経済産業、国土交通、環境、基本政策、予算、決算、行政監視)、7特別委員会(災害対策、沖縄・北方、倫理選挙、拉致問題、ODA、消費者問題、震災復興)の設置等が行われ、休憩後再開された本会議において閉会の場合における継続審査及び継続調査の手続が行われた。閉会手続終了後に本会議は再度休憩に入り、本休憩中に衆議院が解散されたため参議院は閉会となった。

衆議院では、召集日当日の本会議で議席の指定が行われた後、伝達された解散詔書が朗読され、衆議院が解散された。

今国会は、提出された法律案及び条約、受理された請願はなかった。

2 その他

(1) 参議院改革協議会

第193回国会閉会期間中、参議院改革協議会は7月7日に開催され、行政監察機能の強化、行政監視委員会の機能強化について協議を行った。

参議院改革協議会選挙制度に関する専門委員会は、7月7日、同26日、8月31日、9月11日の4回開催され、各日とも、平成28年参議院議員通常選挙に対する評価について参考人から意見を聴取した後、協議を行った。

(2) 参議院定数訴訟

平成29年9月27日、平成28年参議院通

常選挙に関する選挙無効請求訴訟について最高裁判決が示され、議員定数配分規定が憲法に違反するに至っていたということはできないとし、上告棄却との判断がなされた。

(3) 参議院70周年記念子ども国会

7月30日及び31日の2日間、今回が4回目となる子ども国会が開催され、全国から選ばれた150名の子ども国会議員が参議院に一堂に会し、「私たちがつくる未来」をテーマに意見を述べ合い、「子ども国会宣言」をまとめあげた。